特別
へ5
6049

アヤキ
56-4137

濡れるを拭はよ家しーれ　露
わくらはそこに富そん一枝　陸
山姥の書ひそそとすこて　義
点ぞ水代前の　物書　鬼
書落く宗和流や極めん　木
嵐吹き合をそわの　松　露
紅葉ゝ代かりてハ果まひそん　陸
いけそハ用家そん傘代家　義
ゆゝぞわ氏三中の間月史て　鬼
祇ゝ嶋粉も郭公　木
にそて濡お流そみこう涙　露
付さの酒いりふゆそまへ　鬼
義やゝ衣たれ赤の信めそひ　義
扉の家そよ岩さ川　陸

いまの貴尾波アかよ立て　木
出月又ロ　判官　義
扉乃風西ハ三十三ケ国　鬼
稗よかゝ国いさの松　露
皮線さり立の夕夕泳　義
波さけ　月乃市汐　木
鼻すゝ高ふ神そ蔭の　陸
取わそふ形の表出　鬼
淋ーさや為を弾ていかう　木
血乃ゝ浦ふ山ふ又蕎　義
何の椒石代出ゝ中帰　露
義文ゝそ約束乃縄　陸
秋邂逅ふ入へ屋敷別　義
ゝゝせん櫻の角拍子物　木

鬼
藤
俊
義
宋
俊
鬼
藤
俊
義
宋
俊
鬼
藤
俊
義

二

追腹や殿とともふ川めるん　藤
一首ハかりそ石仙乃頌　俊
我庵ハ新水ちれるこ豆腐く　義
若鬼ゝ流れ流乃川水　鬼
れまりわ貴水ゝ　俊
呼ハうゝゝ孫よ魚ひよ　義
わゝ河ハ色宮尾神ゝ　宋
河男にゝひのゝ代ゝ　藤
石捕ゝ杜風乃ふ流れて　鬼
三男無水乃すゝ藤　宋
結宵ハかゝへゝむけ男の契　藤
時乃ゝゝよ梅ゝ月新　鬼
れいゝ長ゝ宮ゝ乃ゝ　義
大ゝ乃事ハ金伝藤也　俊

三

[illegible]
三条小橋の町のふかい　義
川波や法花堂とあるまぢい　鬼
蜆蛤波人はうらうらふかい　嘉
[illegible]　任
江戸風恵風　雅乃風　来
ちりちりとよる恵方つくりひて　義
縁を結ぶの紙を一枚　鬼
[illegible]　嘉
ひるとこたわの来れもて　任
出雲りの男わかて秋葉　鬼
月やわんとたふこの先　嘉
みとのやゝ都のうけ法高ひ　来
[illegible]　義

蛾の髪とけ[illegible]て　嘉
男ともう[illegible]　来
さりい[illegible]り[illegible]　義
浅草ひりの毛穴の文　任
嵐戸いとうの[illegible]朝　鬼
雲とれねとしれてふん　義
ちひ[illegible]蛇[illegible]　任
和遠よりいの[illegible]　嘉
鞠よりの[illegible]　来
服ひれとりの[illegible]　任
ちりすいねとたり年歯　義
[illegible]の[illegible]　鬼
月人も端[illegible]　嘉
[illegible]の輝　来

霧雨八尺斗見えて根　悟
尾上乃しかや大工なるらん　鶴
汀まされすゝま小秋動揺る　永
かう門野辺にちらちらく　鶴
霰乃空さけんさすれは山椒の粉　鬼
えやしらの標ぞおやけせ　悟
蓋なく碑ひ剪し花さかわ　鶴
新恵則おけなの　春　繁

梅翁

何さへ春浅見紙尉へ志了はれ
仍件乃　梅柳咲　次東
鶯鳴下百代迄り代勢泳て　西鬼
家物乃　蝶飛ぶ　白雪　西悟
去年の枝折九尺斗やうてみれん　西鶴
またりなそてとけ龍紙の門　花
何夕根流に寄さへ上水代月　永
附宮に及ばぬ播磨の家　鬼

一風呂に浴して風呂吹立の
麦の粉にて若し紙乳を
白砂糖にてしたるもの
疾氣をうるしたる夕波代声
乗合に又川波小波にて
酒宴を彼れ行とて
座敷にて宴酒の
一門にて踊て唄のわと
代官の九十三足を乗ぬ
とこはさまりかの
唄やうの関の精
行付の名桐の
紀代去に寅の
西向不肖代改めの

鬼
義
露
作
未

足波世界の蔵主と宣の
丈夫の乃こうの
酒乃男
岸寺波や札の
小歌の
ちいろ
憂の
法光の
法光の
子合点の車
蛭義今の
元くめるむ
法立の
敬下の

鬼
義
露
作
未

祢呂と祢代し
籠乃三郎腰
元来し熊野
志ひのうゝ乃布川乃松
丈姫中風さうや村内
悟氣うゝ乃姫なうん
我ちうゝ乃平八城
とひ乃湖やくあうう肩
うゝもうゝ秋淋羅
之後二人わうん
西石いわん乃手
こわれるいうむ
西縄や見うう
又海鹿ま

ゝひ入ゝ乃眞板のさゝわて　義
伽羅のりけゝゝ人物り　宋
法法法やさゝん十七丸製　信
淺衣さゝて薬ゝ乃お礼物　露
一ゝとうゝゝゝ初てわまゝ　義
毒乃ゝゝ乃意名れ製　信
関乃戸と笑ゝゝ越ぬん　教
鈴麻の鬼も横乃ハゝ　宋
雪ちんも向てやまゝ　鬼
村夜ゝゝ乃物乃露　信
ゝけさやゝゝ乃鈴と色ゝ　露
乃設ぬ京原　乃　月　社
咲花も弓中ゝ方ハゝ　宋
ゆゝんよ色じすゝ　露

ゝけさゝい扇乃衣濁さゝ　義
酒よりゝて天乃ゝゝ　宋
絶りやたわ法さて　信
六夜さゝゝ法ゝけ　露
わちゝゝゝ弓中ゝ　義
色去板　無板入丸法ゝ　信
一物も業乃稗ものゝ　宋
身上ハ兵法泡ゝわわ　露
恩蒙ゝ十八下ハ弱さ　宋
さゝゝゝ乃松枝の先　鬼
悪妻ゝさゝ板よ成ゝゝ　義
ゝゝ乃ゝ契ゝ代ゝ乃ゆゝさ　宋
法死絶ゝゝさ無て月ゝん　信
誇女ゝ神代さゝゝ結風　義

初汐をわるみてけさいうら　露
時乃ちから　潮山乃系　赤
深付ハ皆ゑ系ゆくゆく小也　酒
廣をひろいろくゝ酒芝出　鬼
生影乃月の成果ハ郭公　露
濃か深う二月のうれ　酒
結分の結の此キ　花
言も清ゆりそ乃く竹葉　赤

花を踏て結ぶ花表ゝ　梅
石藏ゆの高乃　雪　而之
蓋を以巾乃ゝ山代雪清て　西鬼
つ月初絶ゑ水う流ゝ　露
雪乃代月も濃ゆ清ゆ濃ハ　露
法ゑ小ゆ月ゝ秋の乗人　花
三つ結乃ゝ月ゝ雪や高鬼　酒
脚とうゆふゝ文雪乃花　鬼

鬱乃刈ていうこ間乃の末　南
九十九敷さし毒ふり〇拾　嘉
美男し接ろ乃ひの塔ゐて　義
測を世るしろく魔中　信
ぬるとゑの灸とすつん　鬼
ひゝ男乃かを間分別　南
接ろ乃ろ乃ろ如と嘱て　泰
恒を敢命藤り七る　義
ろ浮ふ如公乃赤絡也　信
挽乃ろ代沸りく命毒　鬼
資代蓋元上ゑれハ月更て　義
沈嶽の乃ゑ秋風ろく　嘉
文かりる鎖聖ひくふ鮫の元　南
三寸ゑろ元しゆく一な　信

せんたくや脇の下と波毒て　鬼
通をうゝるひ為ろ祇嘱　義
手後ひをふ梯ゆゆむん　嘉
中風教ゑろ鬱のに　鬼
故ようの出ふ湯浩て　信
苦乃衣し新ゝ来れ　嘉
何不ゑて扶樓宮世ゑれん　南
何ろ風教ゑろ心けろ毒　信
秘風い形乃拳ゑ吹毒ろ　義
わろさすゑの紡ゑ月新　南
行るゑのり代乃筋添て　嘉
何かりゑてゝトゆ扱なり　義
毒ゑすハ兎の完の敷ゑれや　鬼
見ろゝ嘉為鎖強越ほ　嘉

鄙紙に人さし指の筋むひ　馬
たりひよ今そ面影　鬼
早苗とるあや姫よ　義
きふのあり笠の白の表笠　馬
新酒の初もとなる　鬼
判官とのく　蝶の久米　南
天津厂中剃一筋ふすび　落
うこと引きく細波の月　義
石臼や栗津の河よみひらん　馬
松永さして布を巻也　鬼
なさと彼いまうり七夕　南
彩乃絵ハ　ふるふるけ　落
拍陰のこ梅のわうや凝ん　義
伯まつのと拍ふ表乃白　南

人形新胡蝶の義とかにてり　鬼
歩人向ひてハ面影藏の果　落
釈迦の前寝毒虎の朔朗　南
本松もられて女人四見　義
多剃のたごに物を腹とおく　馬
悟思つ与さ紅葉乃唐　鬼
とのまくて花わりとう部公　義
語とむすんて行器の表　鬼
人面やなけさの巳代出弱　馬
まさつ面ろ村面乃紅　義
久米乃風ふ　しさ二王門　鬼
面以りとの　てむ月　落
すりさわと骨あり　南
ふ十天狗も俳ふ土よ　馬

[illegible]れてもしら芦
すり狩一川 信濃の方 義 鬼
寒さに弟まよ 師走の晦日 露
男ひてうう 塩釜の内 南
遠海の沖の 出歌せられ 恒
よいもと 十九日たけ 義
落枝や雲霧 園のすへおれ 鬼
来ちの焼火 や夢の蒲鉾 露
ゆとしそ [illegible]人 [illegible]屋 南
紙屋いろ [illegible]ろ 清水の寺 恒
冷てひ 堀離 [illegible]ちひ 乳鬢 義
次三歩 乃月 [illegible] 焼 鬼
花い姿 [illegible] [illegible]ぞ 又 露
わふもの [illegible] [illegible] 南

[illegible]中の [illegible] [illegible]すや 離 恒
三人一所 [illegible] 燥帚 [illegible] 義
鮫けい [illegible]のわけ [illegible]の大笑 鬼
さそい [illegible]のうけ [illegible]の猫 露
極さつ [illegible]さ人の [illegible]の数 南
浄見う [illegible]むお [illegible]の [illegible] 恒
百性の [illegible]忽湯 [illegible] 義
わさの [illegible]くわ [illegible]の半鬼 鬼
世界の [illegible]ふ松 [illegible]れわ 露
弁戈天 [illegible]の [illegible]て [illegible]る 南
[illegible] [illegible] [illegible]の [illegible]は論 恒
えんを [illegible]の [illegible] 義
月人し [illegible]ハ [illegible]の [illegible] 鬼
塩辛 [illegible]や [illegible]海 [illegible]の [illegible]は 露
一切の 寄

明の完隨つゝ秋おゝわゝ　南
鄂ゝ吹出菩提大師　酒
法会の生身社へ　義
りゝくのゝよ親を栖鶴　鬼
花衣泊待ゝ者の附ゝ　露
梅ハゝ乃　祇乃宮紋　南
初冥ゝ天祇ゝ手ゝて　酒
化粧ゝ　やゝ尚ゝ者ゝ　義

寺町二条上ル町
井筒や庄兵衛板